

研究情報公開

受付番号	22-26
研究課題名	骨折患者の抑うつ改善は日常生活活動の回復と関連する
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	リハビリテーション 療法部 作業療法士 荒木俊二
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的] 本研究は Geriatric Depression Scale15 (GDS15) を測定し、抑うつ症状の変化と機能的転帰の変化との関連を検討する。</p> <p>[研究の方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象となる方 当院の1つの病棟に入院した骨折患者様 ●利用するカルテ情報 年齢、性別、骨折のタイプ、Charlson comorbidity index (CCI)、入退院時 Geriatric Depression Scale15(GDS15)、入退院時 Body Mass Index(BMI)、入退院時 Mini- Mental State Examination(MMSE)、入退院時 Functional Independence Measure (FIM)、在院日数、1日あたりの平均リハ量、その他、研究をおこなうにあたり必要なデータの収集を行う。 ●カルテ情報の利用方法 上記のカルテ情報は、患者様の抑うつ症状の変化と機能的転帰との関連を分析する材料とします。 <p>[個人情報の取り扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	承認日～2027年12月